

■（１７）「タイガーマスク現象」の功労者は！

「タイガーマスク現象」はどこまで広がるのか。漫画の主人公・伊達直人を名乗って児童福祉施設などにこっそりプレゼントを贈る各地の出来事は、年末年始の最大のニュースになっている。１９６８年から連載された人気漫画に再び注文も殺到しているという。

発端は前橋市の児童相談所に昨年のクリスマス、ランドセル１０個が届けられたことだった。自ら育った孤児院に命がけで稼いだお金を寄付した伊達直人を思い起こさせる粋な行動だった。それを２日後に群馬県が発表。ここからが記者のセンスの見せ所だった。

「よくある話」と片付けるのか、それとも「いい話」と全国に発信するのか。今回は後者だった。記者らも伊達直人の手法に共感していた。偶然にもプレゼントを持参した人物と遭遇してしまったテレビスタッフもあえて正体を明かさないまま報道していた。

私の自宅そばにも複数の児童養護施設がある。伊達直人が現れなくても、周囲は施設の子のことを考えるきっかけとなった。ところで、タイガー現象の最大の功労者は？ 経緯は不明だが、記者よりも、報道機関への情報提供を思い立った群馬県の職員だろう（山）